

Q 書道教育特区を訪ねて（書道の授業時間）

A 今後3年間は15時間体制で進めたい（西原教育長）

Q 静岡県伊東市立南小学校では、1・2年生に書道を年間35時間教えている。町でも低学年の書道が年間15時間で始まるが、将来的に年間35時間体制にならないか。

A 本町の試みは、他の授業を削減しないで新たに15時間多く学習する形をとっている。少なくとも3年間はこのやり方で進めたい。
なお、新年度からは公民館講座等で、親と子どもを対象の「書道学び教室」も計画しており、筆の都くまのを大きくPRしていきたい。



渡議員

Q 道徳、躰に思う

A 校長会でも指導していきたい（西原教育長）



渡議員

Q 小学校の学芸会を観賞し、大変感動した。その場にいた通学ボランティアの方のお話では、挨拶ができない子供は親も挨拶ができないとのこと。ボランティアの方に対して感謝の言葉をいただくよう、先生から保護者に言っていたください。

A 親の姿勢、態度が子供の成長に大きく影響を及ぼすことを学校便り等で啓発していく。親がきちんとした信念を持って躰をし、一人前の人間に育てていただきたい。校長会でも指導していきたい。

Q 町の貧困率と子供の就学援助金制度について

A 貧困率の算出は困難（立花民生部長）
町独自の就学援助金制度を設ける予定はない（西原教育長）

Q 町の貧困率はどうか。また、奨学金や就学援助金の活用状況は。中学校の完全給食、高校生の就学援助金制度の設立について、どう考えるか。

A 貧困率は、国が地域を抽出し算出するため、町単位は困難。また、奨学金は3月卒業の中学生が9人申し込んでおり、就学援助は小学校で13%、中学校で15%が受給している。給食は、以前の調査結果などにより、導入は見合わせている。高等学校は国が授業料の無償化を進めているため、独自制度を設ける予定はない。



白築議員

議会審議をピックアップ！

3月定例会で議決等されたもの（敬称略）

条例制定・改正

■熊野町児童医療費支給条例の制定
入院治療を受けた小・中学校に通う児童に対し医療費を助成。

■コーポラス熊野設置及び管理に関する条例の制定
石神地区の雇用促進住宅熊野宿舎を、町営住宅として4月から管理運営。

■熊野町手数料条例の一部改正
県の屋外広告物に関する事務の権限移譲によるもの。

■熊野町部及び課設置条例の一部改正
建設課と都市整備課にまたがっていた事務を効率的に行うための改正。

予算

■平成22年度予算（一般・特別会計・事業会計）
P2に詳細

■平成21年度一般会計補正予算
2億2千834万8千円
減額（第7号）。600万円増額（第8号）。

■平成21年度国民健康保険特別会計補正予算
450万円増額。

■平成21年度老人保健医療特別会計補正予算
292万3千円減額。

■平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算
2千799万5千円減額。

■平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算
271万9千円減額。

財産の取得

■熊野町立小・中学校及び公民館備品の変更
テレビ6台等を追加で整備。

■町立小・中学校コンピュータ周辺機器及び視聴覚機器備品
プリンターやプロジェクター等の周辺機器や視聴覚機器を導入。

同意

■人権擁護委員の候補者の推薦
岡本 順子
荒瀧 いく子

■熊野町副町長
木谷 健

■熊野町教育委員会委員
林保

選挙

■熊野町選挙管理委員及び補充員

猪野 明雄	梶矢 博幸	仁井本 義治	高崎 宗利	梶山 康孝	實森 圭宏	中村 圭昭	菅田 博昭
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

・補充員

発議

■「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取組を求める意見書を提出。

■国及び関係機関へ同意見書を提出。

その他

■特別児童扶養手当認定等事務の事務委託に関する協議
県と町との間における規約の締結。

■指定金融機関の指定
安芸農業協同組合

■広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、組合の事務所位置の変更及び組合規約の変更
団体の減少及び住所変更。